

2019 年度「ナノテクキャリアアップアライアンス」
産総研 N.R.P.コース 募集要領

Nanotech CUPAL 産業技術総合研究所事務局

1. 産総研 N.R.P.コースの目的

我が国の若手研究人材のキャリアアップと流動性向上を図るため、産業技術総合研究所（以下、産総研）では、「新たな知の創成を牽引するプロフェッショナル(Nanotech Research Professional: N.R.P.)」を育成します。

育成対象者は、産総研のホスト研究者とともに共同研究を実施する中で研究主宰者として新たな研究領域の開拓や、民間企業研究職に求められる素養の習得などを行うことにより、キャリアアップしていくことを目標としていただきます。

2. 産総研 N.R.P.コースの概要

「ナノテクキャリアアップアライアンス（Nanotech CUPAL）」では、これまで若手研究者が「共鳴場」を活用して、キャリアアップを達成する事業を展開してきました。

参照：<https://nanotechcupal.jp/cupal/>

その成果をさらに発展させるため、2019 年度より産総研では、独自に N.R.P. 募集を行います。

申請者は、別紙「2019 年度「ナノテクキャリアアップアライアンス」 産総研 N.R.P.コース ホスト研究者情報一覧」にある産総研の研究者と共同して、産総研で実施したい研究内容を自ら提案し、産総研 Nanotech CUPAL 事務局に申請を行います。申請の際には、所属機関の事務局の確認を経てから申請して下さい。また、産総研ホスト研究者に受入の可否を確認した上で申請を行って下さい*。産総研 Nanotech CUPAL 選定委員会では、書類審査を行い、育成候補者を決定します。産総研 Nanotech CUPAL 選定委員会で選定された育成候補者は、Nanotech CUPAL 選定・評価委員会で、審査・二次選定の上、運営委員会で N.R.P.（以下、育成対象者）と認定します。

*：ホスト研究者に関する情報が必要な方は産総研 Nanotech CUPAL 事務局にお問い合わせ下さい。

育成対象者は、各年度当初に、研究期間全体の目標、年間研究計画とマイルストーンを設定し、それに沿って研究主宰者として自立して研究に専念していただきます。なお、育成対象者の所属機関は、育成対象者を受け入れる産総研と共同研究契約を締結していただきます。年度の終了時及び研究期間の終了時には実施報告書を提出いただきます。

産総研は、N.R.P.コースを通じて、有望な若手研究者が大学等に留まって研究活動等に従事するだけでなく、産学官の共鳴場に参画し、民間企業及びアカデミアの研究者等と切磋琢磨することにより、グローバルリーダーとしてキャリアアップしていただくための、新たな人材育成システムを提供します。

3. 応募要件

博士号を有する若手研究者（助教、講師、ポスドクなど）、及び、博士課程（後期）の学生

4. 募集人数

2名程度

5. 雇用条件

博士号を有する若手研究者は、原則として所属機関にて雇用が確保されていることが応募要件です。具体的な雇用条件は、所属機関の定めに従います。新たに雇用されることになる場合であっても、2019年度中に共鳴場での活動を開始していただく必要があります。または、博士課程(後期)の学生については、【6. 推薦状】は指導教官が作成下さい。

6. 育成対象期間

原則3年以内。

7. 研究費

育成対象者が実施する研究に対し、1年間のスタートアップ研究費（150万円；研究費及び旅費等）を産総研の受入れ研究領域に支給します。

また、2年目以降については、育成対象者に対し外部資金への応募を義務付けるなど、研究資金の獲得を強く推奨・支援します。

8. 研究の評価

2019年度の育成対象者に対し、平成32年5月頃に、育成対象者の実施する研究について、研究期間全体の目標、年間研究計画実施の進捗を中心とした、Nanotech CUPAL 選定・評価委員会による評価を実施します。

尚、研究及びキャリアアップの進捗状況について、成果発表会及び年度報告書（終了時報告書）などに基づき、選定・評価委員、ホスト研究者等からコメントすることもあります。

9. 共同研究契約

育成対象者の所属機関は、育成対象者の研究実施計画に基づく研究期間について、産総研と共同研究契約を締結していただきます。

10. スケジュール

2019年5月7日	募集開始
6月28日	申請書提出期限 産総研 Nanotech CUPAL 選定委員による選定 (書類審査及び書類審査合格者には面接審査) Nanotech CUPAL 選定・評価委員会による二次選定
7月13日以降	運営委員会にて決定、申請者へ結果通知 共同研究契約手続き開始

11. お問い合わせ

産総研 N.R.P.に関する事、申請手続き等については、産総研 Nanotech CUPAL 事務局にお問い合わせ下さい。

メール：nanotech-cupal-ml@aist.go.jp

TEL：050-3648-4108

12. 書類提出先、提出期限

提出先：産総研 Nanotech CUPAL 事務局

メール：nanotech-cupal-ml@aist.go.jp

住所：〒305-8569

茨城県つくば市小野川16-1 産総研 つくば西 TIA 推進センター

提出期限：2019年6月28日（金）15時（必着）

申請書（様式）

申請日：2019年〇月〇日

研究タイトル	
申請者情報	
1. (フリガナ) 氏名	
2. 生年月日	
3. 性別・国籍	
4. 現住所	〒
5. 学位及び取得後 経過年月数	(取得後 〇年〇か月経過) (例) 理学博士 H22年3月取得 (取得後 5年0か月経過) ※学位取得見込みの方は「H**年**月取得見込み」と記載下さい
6. 研究分野	
7. 現職(所属組織・ 役職名)	(例) H19.4～現在 〇〇大学△△研究科 □□助教
8. 最終学歴	(例) 〇〇大学大学院〇〇研究科博士課程〇〇専攻 H22.3 修了
9. 連絡先	電話番号： E-mail：
10. 産総研の受入れ ホスト研究者	氏名： 所属：
11. 所属組織の事務局 確認者	氏名： 所属：

申請書に記入した情報は、選定評価、コースの実施、事務手続きのために、アライアンス事務局関係者に公開される場合があります。法令に基づく開示請求があった場合、その他特別な理由を除き、収集した情報を上記「利用目的」以外に自ら利用し、または第三者に提供いたしません。ただし、統計的に処理された情報については公表することがあります。

【1. 自身のキャリアアップに関する目標】

本事業における研究主宰者としての研究活動を通じ、新たな研究分野の開拓やキャリアアップをどのように実現するか、可能な限り具体的な目標を明快かつ詳細に記述してください。

①将来のキャリアについて

②本事業または共鳴場を活用したキャリアアップに至るまでの道筋

③キャリアアップのための研究成果の発信先、その方法

【2. 研究目的】

上記、キャリアアップの実現のためにどのような研究を目指すべきか、申請者の研究の全体構想及びその中での本研究の具体的な目的について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、明快かつ簡潔に記述してください。

(概要)

① 研究の学術的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）

② 研究計画の期間内に、具体的に何をどこまで明らかにしようとするのか

③ 当該分野における本研究の学術的な価値・位置づけ・独創的な点等、及び予想される結果と意義

【3. キャリアアップに向けた研究計画・方法】

研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、以下の項目についてそれぞれ明快かつ簡潔に記述してください。

①キャリアアップに向けた研究実施全期間における長期計画（希望するホスト研究者と申請者研究内容との関連性とその重要性、及び共鳴場における複数の施設・設備の活用についての計画を含む）

（エフォートを%で記載してください）

	種別	2019	2020	2021
A	産総研における研究活動			
B1	所属機関における研究活動			
B2	派遣元機関における研究以外の活動			

（注）2020年度以降補助はありません。

③2020年度以降の外部資金獲得の計画・方法

【4. 研究活動の状況・業績及びこれまでに受けた外部資金とその成果等】

現在、参画している研究の状況（研究費の種類、研究期間、研究課題、研究内容、役割分担内容）及びこれまでに受けた外部資金（科研費、所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。現在受けている研究費も含む。）を具体的に記述してください。

また、これまでの著書、産業財産権、招待講演のうち、本研究に関連する重要なものを選定し、現在から順に通し番号を付して記載してください。また、特筆すべき事項（受賞歴等）があれば簡潔に記載してください。

※学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限りません。

これまで発表した論文を全て記載下さい。別資料での提出も可とします。ただし、今回申請した研究テーマに関連した論文には○を付けて下さい。

(現在、主として参画している研究の状況)

(これまでに受けた外部資金)

(論文)

(著書)

(知的財産権等)

(招待講演)

(特筆すべき事項)

【5. 研究のための予算計画】

計画事項	金額 <small>単位：千円</small>
1. 設備	
2. 消耗品	
3. 旅費	
4. 人件費	
5. その他経費	

【6. 推薦状】

2019 年度 N.R.P.候補者として、本申請者を推薦する。

(理由)

1. 氏名	
(印)	
2. 所属組織	
3. 役職	
4. 連絡先	電話番号： E-mail：

2019年度「ナノテクキャリアアップアライアンス」産総研N.R.P.コース ホスト研究者情報一覧

			2019/1/22
No.	研究テーマ	研究者	所属
1	次世代パワーエレクトロニクス用ワイドギャップ半導体薄膜成長とその材料評価	児島一聡	先進パワーエレクトロニクス研究センター
2	砂、植物、空気を資源とするものづくりを実現する革新的触媒開発	佐藤一彦	触媒化学融合研究センター
		富永健一	触媒化学融合研究センター
		田村正則	触媒化学融合研究センター
3	創薬分野への応用を目的とした新規細胞アッセイ技術の開発	金森敏幸	創薬基盤研究部門
4	CMOS/評価・分析プラットフォームを活用した異分野融合インテグレーション	右田真司	ナノエレクトロニクス研究部門
5	CMOS/新構造・新材料・新原理デバイス集積化技術開発	昌原明植	ナノエレクトロニクス研究部門
		松川貴	
		柳永勲	
6	超伝導計測デバイスとその集積化に関する研究	神代暁	ナノエレクトロニクス研究部門
7	ポストシリコン材料の3次元集積化技術の開発	前田辰郎	ナノエレクトロニクス研究部門
8	微細化の限界に対応する3次元集積実装技術	菊地克弥	ナノエレクトロニクス研究部門
9	微生物由来高生産性を目的とする新規遺伝子変異技術の開発研究	岩田康嗣	電子光技術研究部門
10	シリコンフォトリソ	榊原 陽一	電子光技術研究部門
11	次世代ナノエレクトロニクスデバイス及び量子情報処理のための理論・シミュレーション	川畑史郎	ナノエレクトロニクス研究部門
		馬渡康徳	電子光技術研究部門
12	量子分割エレクトロニクス	田中康資	電子光技術研究部門
13	光学システムを活用したセンサー開発	藤巻真	電子光技術研究部門
		古川祐光	
		島隆之	
		芦葉裕樹	
14	強相関エレクトロニクス	澤彰仁	電子光技術研究部門
		山田浩之	エレクトロニクス・製造領域研究戦略部
		渋谷圭介	電子光技術研究部門
15	新規低次元材料の創製、ナノ物性計測、ナノ構造作製の研究	清水哲夫	材料・化学領域研究戦略部
		久保利隆	ナノ材料研究部門
		岡田 光博	ナノ材料研究部門
16	高品質単層CNTの直径制御合成法開発およびそのフィルムエレクトロニクス応用	斎藤毅	ナノ材料研究部門
17	MEMSと集積回路、光デバイス、パワーデバイス、通信デバイス、バイオチップ等の異種デバイスを集積化するN-MEMSの研究開発	高木秀樹	集積マイクロシステム研究センター
		小林健	
		一木正聡	
18	糖鎖プロファイリングによる細胞機能解明と医療応用技術の開発	舘野浩章	創薬基盤研究部門